

赤潮・貧酸素情報（3）

平成29年6月13日

各漁業協同組合長 殿

福岡県水産海洋技術センター
豊前海研究所長

6月13日に調査を行った結果、苅田南港でヘテロシグマアカシオ（*Heterosigma akashiwo*）による赤潮の発生が確認されました。

○ヘテロシグマ・アカシオ細胞密度

番号	採水場所	採水層 (m)	ヘテロシグマ・アカシオ (細胞数/海水1ml)
①	柄杓田漁港	0	0
		B-1	0
②	恒見漁港	0	0
		B-1	0
③	松山漁港	0	10
		B-1	4
④	苅田本港	0	4
		B-1	10
⑤	苅田南港	0	5700
		5	1530
⑥	蓑島漁港	0	0
		B-1	0
⑦	稲童漁港	0	0
		B-1	0
⑧	宇島漁港	0	0
		B-1	0
⑨	吉富漁港	0	0
		B-1	0

○ヘテロシグマ・アカシオは豊前海で主に5～6月頃に発生し、10,000細胞/ml以上で魚がへい死することがあります。

○漁獲物の港内での蓄養は避け、早めの出荷を心がけてください。

○今後、天候次第ではさらに増殖する可能性がありますので、着色が認められていない港でも十分注意してください。

○なお、貧酸素水塊の発生は認められませんでした。

○研究所では、引き続き調査を実施しますので、今後の赤潮情報に十分ご注意ください。

今後、漁業被害、海面の着色などがみられましたら、豊前海研究所（0979-82-2151、担当：恵崎、俵積田）までご連絡下さい。

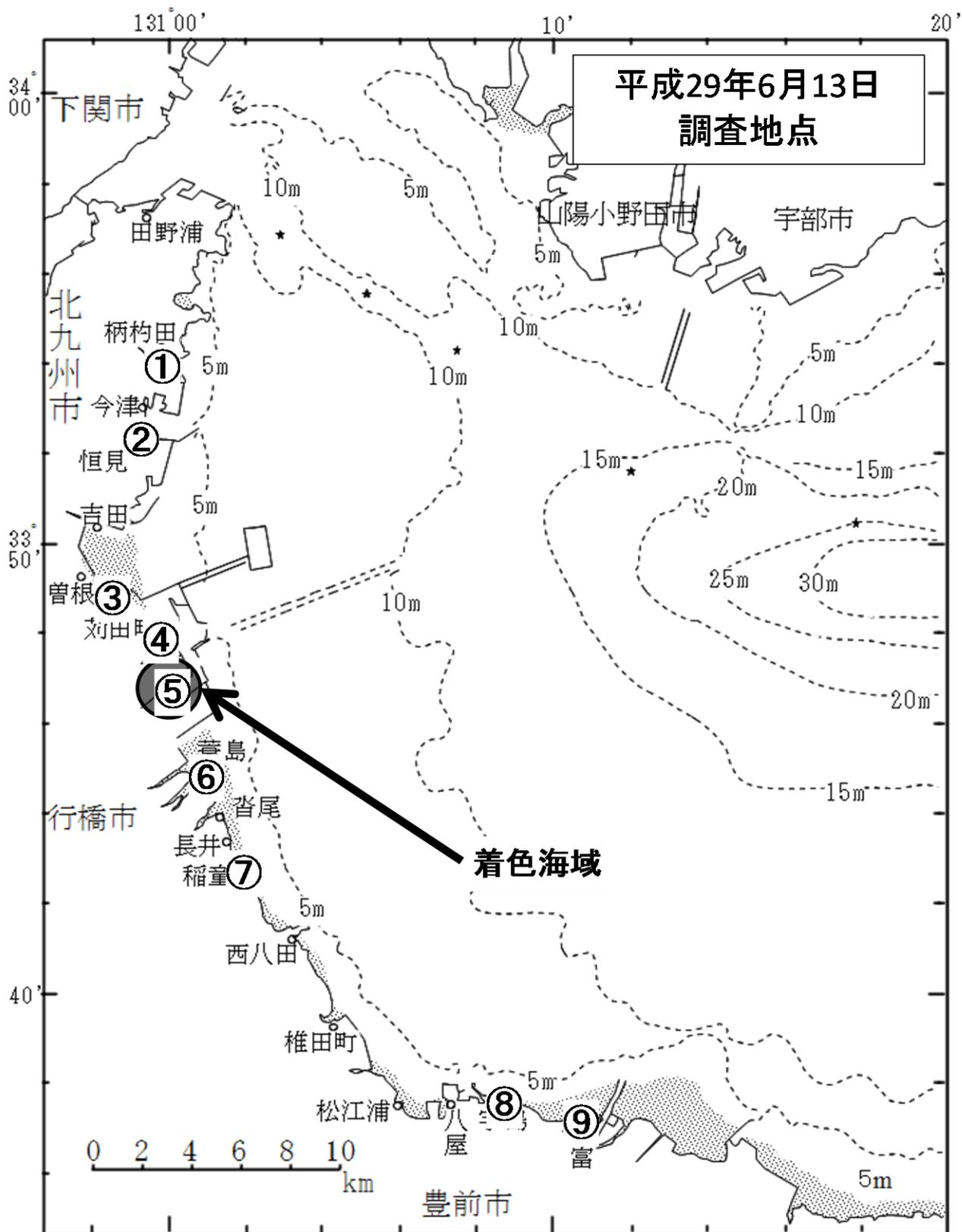


図 赤潮発生海域図